



ブレストセンター クリニカルパス

～入院中の診療や看護の主な予定をご案内いたします～

様 病名 乳腺腫瘍 (乳腺腫瘍摘出術 手術当日入院)

平成 年 月 日

主治医 担当看護師

聖路加国際病院 () 病棟

経過 手術日・退院日など	1日目		2日目以降	
	入院日・手術前	手術後	術後1日目以降	
治療 薬剤 (点滴・内服)	点滴留置針挿入 (手術と反対側の腕): 病室で行います。	・抗生物質の投与 ・痛みに応じて痛み止めを使用します。 (点滴、坐薬など)	・食事が取れたら、点滴留置針を抜きます。 ・毎食後、痛み止めを内服します。(場合によって、必要時の内服でもかまいません。) 退院後は、必要時の内服に変わります。	
処置	手術する側の乳房にマジックでマーキングします。	手術後、酸素投与を行います。 時々深呼吸を行ってください。	・酸素投与を中止します。 ・創部には創の保護の為、透明フィルムか、ダーマボンドで保護されています。フィルムは退院後、外来ではがします。 ・創部が問題なければ手術翌日に退院可能です。	
検査	□ ()			
安静度	制限はありません。	手術後は、ベッド上安静。 身体の向きを変えたり起こしたりすることは可能です。	制限はありません。 初めて歩行される時は、看護師が付き添います。	
食事	入院後より絶飲食	絶飲食 □を湿らせたり、うがいはできません。 麻酔覚醒後6時間で水分摂取できます。	朝食から食事が始まります。制限はありません。	
清潔	手術用ガウン、下着に着替えます。 弾性ストッキングを着用します。	当日はガウンのまま過ごしていただきます。	創部は透明フィルムで保護されています。全身シャワーは可能です。 入浴は少なくとも次回外来までは、しないで下さい。	
排泄	入院後、尿量を計測し、記録してください。	麻酔がかかってから、尿道カテーテルを入れます。	朝、尿道カテーテルを抜きます。	排泄回数を記録してください。
説明・ オリエンテーション	・病室・病棟・入院生活、手術前後の流れなどについて看護師より説明します。 ・手術、麻酔の同意書をお預かりします。 ・問診、検温、常用薬の確認等行います。	手術終了直後、ご家族に医師から手術内容について説明します。	・手術後、病理の結果がでるまでには約2週間かかります。 退院後、初回来にて結果をご報告し、今後の治療についてお話しします。 ・手術後のリハビリや生活上の注意点などについて、看護師より適宜説明します。 ・退院後の生活や注意点等についても説明書をお渡しして、説明します。ご質問、ご不明な点などありましたら、お声かけ下さい。	

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わる可能性があります。

注2 入院期間については現時点の予想です。